

J R東日本労働組合 秋田ジャーナル

J R東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ~ 佐藤 俊樹

編集者 ~ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



2月8日、地方本部は支社より「組織の見直しと業務の効率化と移管拡大・制度の見直し・検査体系の見直し」等について提案を受けた。地方本部は実施項目の大まかな点について質問し議論した。詳細については「交渉通信」を参照されたい。

組合～「技術的な判断業務に注力する」とあるが電気の場合は？

会社～管理はJR。検査は協力会社。当時は一部検査をやっていたが検査を拡大した。JRは設備管理の技術集団、協力会社は検査の技術集団との位置付け。

組合～検査した段階で不具合あればテムズでは対応しないのか？現場でのやり取りか。撤収してからのやり取りか？

会社～検査の段階で不具合箇所あればJRに連絡。その後JRでどうするか判断となる。一旦JR側にあげて頂き判断となる。パートナー会社が単独で動くことはない。修理の要請はJRでテムズとのやり取りをする。緊急の場合は直接パートナー会社からJRに連絡。

組合～突発、巡視も含めて4月1日まで整理するのか？

会社～今の段階では確定的ではないが、整理したい。

組合～5月になるか来年度になるか分からないという事か？

会社～通常の巡視はJR。台風とかあるのでその場合をどうするか検討中。それをやるかやらないかの判断を4月1日までに決めたい。4月1日までに決まらず以降、社員の声があれば継続して検討していく。

組合～働き方の変革だが若い人達がこの変革の過程で判断していく。技術の裏付けが必要になると思うがそれに対するフォローなり、担保がされているのか？

会社～技術に関しては今後も変わらず。教育に関してもシステムなど使い進めていく。

電気部門の変革2022
支社より提案受ける！

2019春闘勝利!!

一律6千円ベア獲得

中央総決起集会に約500名結集!!

ユニオン本部は2月24日、日暮里ホテルラングウッドにて中央集会を開催し、2019春闘勝利に向けた総行動として492名の組合員が結集し要求獲得の意志統一をした。

